

平成23年度 第1回健康日本21 福岡市計画推進会議専門部会
「健康づくりセンター見直し委員会」議事録（要旨）

- 1 開催日時 平成23年5月10日（火）18：00～19：30
- 2 開催場所 福岡市役所 本庁15階 1504会議室
- 3 会議次第

- 1 開 会
- 2 議 題
福岡市健康づくりセンターの機能再構築について
～ 第1回 ～ センター及び本市生活習慣病対策の現状と課題について
- 3 閉 会

4 出席委員 全員（9名）

5 傍聴者等 無

6 議事概要

議 題 福岡市健康づくりセンターの機能再構築について
～ 第1回 ～ センター及び本市生活習慣病対策の現状と課題について

【前 半】見直しの背景、健康づくりセンターの現状と課題（資料6ページ途中まで）

（質問・意見）

委員	今回の検討は、健康づくりセンターの存続が前提なのか。それとも、統廃合も含めての検討なのか。
事務局	健康づくり自体は今後も重要な取り組みであり、基本的には有効活用を想定している。
委員	センター利用者の居住地の分布はどうなっているのか。
事務局	健康度診断については中央区がやや多い状況。他の講座・教室等も同様。図書室やウェルネスストリートの利用者については、本人に確認していないので分からない。
委員	センターの認知度はどうなっているのか。アンケート調査などを行ったことはあるのか。
事務局	以前行ったところ、市民の認知度は低かったため、様々な広報等を通じてPRを行ってきたところである。
委員	市民が健康づくりセンターに何を求めているかというアンケートは行ったことはあるのか。

- 事務局 健康づくりセンターも含め、本市の健康づくり全般に関して市民が何を求めているのかという観点からの意見等を募集し、幅広く市民の方々の意見を取り入れて策定したのが「健康日本21福岡市計画」である。今回の見直しについても、その計画に基づいて実施しているものである。
- 委員 センターで実施している「糖尿病教室」などは、利用者は少ないが、医療機関が行う栄養指導等を補完するとても良い事業だと考えている。
- 事務局 健康づくりに関する講座・教室等については、全てを否定しているわけではなく、これまで総花的に取り組んできた面があるため、市民ニーズや費用対効果等を考慮しながら、絞り込んでいくことが必要だと考えている。
- 委員 健康づくりの調査・研究については、これらの成果をどのように生かしているのか、どのように市民に還元しているのか見えない。学会で発表するだけでなく、市の健康施策に生かせるような意味のある事業でなければならない。仮にそれが本当に必要なものであったとしても、人や時間をかけて、果たして市が直営で行う必要があるのか疑問である。ひとつの事業の仕分けとして、健康づくりの調査・研究については、センターで行うのではなく、必要な時だけ研究機関へ委託すれば良いのではないかと。なるべく身軽にして、本当に必要な事業だけを残せば良いと思う。
- 委員 糖尿病については、専門医でなければなかなか患者に対してきめ細やかな栄養指導などは難しい。そういう方々が、糖尿病教室の案内など、もっとセンターを活用すべきであり、そのような機能は今後も必要だと思う。
- 委員 見直しにあたって、社会情勢などの外部要因も重要だが、センターを魅力あるものにするという点で、内部要因についてもしっかり分析する必要がある。今後、センターは地域の住民が活用できる施設にしてほしい。
- 委員 中央区の住民の利用が多いということだが、たとえば送迎バスを活用してはどうか。今後、高齢化がもっと進めば、これまで以上にわざわざ遠くへ行くのは面倒という人も増えてくることが予想される。それから、保健所では平日昼間だけだが、土日や夜間しか時間が空いていないという人への対応はどうか。
- 事務局 現在でも、健康づくりセンターでは、保健所事業を補完する観点から、講座・教室等については保健所では対応していない土日や夜間に多く実施している。なお、保健所との関係で言えば、センターではパイロット事業を行い、効果のあるものについてはノウハウを保健所へおろしていくという機能も有している。

【後 半】本市の生活習慣病対策の現状と課題（資料6ページ途中から最後まで）

（質問・意見）

委員 生活習慣病対策についてだが、ハイリスクアプローチとしての二次予防、三次予防へ力を入れていくということについては同感である。今回の見直しの中で、そのような機能を組み入れるというのは非常に良いと思う。

委員 健康づくりを進めるうえで、生活習慣を改善するための行動変容を起こさせるというのは重要であるが、実際にはなかなか難しい。しかしながら、疾病を有する方に対しては、その疾病に着目した栄養指導等を行うが、こういうケースでは生活習慣を改善するための努力は継続しやすい。

委員 通院患者等への栄養指導等についても、今後、行政と医療機関が連携したシステムが出来れば非常に効果があると思う。

7 今後の議事予定

第2回（6月上旬）

- ・ 健康づくりセンターの機能の方向性について
- ・ 健康づくりセンター実施事業（案）について

第3回（6月下旬～7月上旬）

- ・ 第2回の続き
- ・ 総括